

宇部工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	応用プログラミング論	
科目基礎情報							
科目番号	0048			科目区分	専門 / 選択		
授業形態	演習			単位の種別と単位数	学修単位: 1		
開設学科	経営情報学科			対象学年	4		
開設期	前期			週時間数	前期:2		
教科書/教材	よくわかるExcel2016マクロ/VBA FOM出版						
担当教員	二木 映子						
到達目標							
Excel VBAのユーザーフォームを使ってオブジェクト指向のプログラミングを学ぶ (1)JAVA言語プログラムの書き方とExcel VBAの書き方の違いについて説明ができる(30%) (2)プロパティについて理解ができる (30%) (3)ユーザーフォームを挿入し、ツールボックスからコントロールを配置し、プログラムを作成できる (40%)							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		最低限の到達レベルの目安 (可)		未到達レベルの目安
評価項目1	JAVA言語とExcel VBAの違いがわり、プログラムが書ける		JAVA言語とExcel VBAの違いがわかる		JAVA言語とExcel VBAの違いが部分的にわかる		JAVA言語とExcel VBAの違いがわからない
評価項目2	いろいろなプロパティを使用でき、プログラムを作成できる		いろいろなプロパティを使用できる		基礎的なプログラム仕様書が部分的に作成できる		いろいろなプロパティを使用できない
評価項目3	ユーザーフォームを挿入し、ツールボックスからコントロールを配置し、そのプロパティ項目のオブジェクト名前と役割や使用方法がわかり、プログラムを作成できる		ユーザーフォームを挿入し、ツールボックスからコントロールを配置し、そのプロパティ項目のオブジェクト名前と役割や使用方法がわかる		ユーザーフォームを挿入し、ツールボックスからコントロールを配置し、そのプロパティ項目のオブジェクト名前と役割や使用方法が部分的にわかる		ユーザーフォームを挿入し、ツールボックスからコントロールを配置し、そのプロパティ項目のオブジェクト名前と役割や使用方法がわからない
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	第Ⅰ学期開講 基本は、J a v a 言語と同じプログラムです。E x c e l VBAの開発過程とマクロの作成を授業で行います。						
授業の進め方・方法	教科書を読んできていることを前提として授業を進めます。 J a v a 言語が理解できているので、教科書を読んでわからないことについて説明します。						
注意点	(1)Excel VBAでいろいろなプロパティを使用してプログラムが作成できる 60% (2)ユーザーフォームを挿入してプログラムが作成できる 40%						
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	マクロの作成			自動でマクロ作成をする	
		2週	JAVA言語とExcel VBAの違い			Excel VABでプログラム作成	
		3週	プログラムからセルの操作			プログラムからセルを自由に呼び出したり書いたりできる。	
		4週	変数と制御構造			いろいろな変数と制御を使って例題を元に練習する	
		5週	プログラムの作成			プログラムを実行できる	
		6週	プログラムの作成			コマンドボタンの作成とコマンドボタンによりプログラムを作成する	
		7週	プログラムの作成			各自でプログラムを作成する	
		8週	まとめ			Excel VBAのプログラムを理解し、作成できる	
	2ndQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
			レポート			合計	
総合評価割合			100			100	
知識の基本的な理解			100			100	